

釈迦の十大弟子のひとりで、弟子達の中で第一の長老。王舍城に近い村の貴族婆羅門の家に生まれました。ここは現在のパトナ市の南方で、王舍城の旧址のあるジギルに近いところです。お父さんは尼拘陀・鞞波（ニグローダ・ゴーパ）といい、マカダ国（マカダ）の王さまより金持ちといわれた大地主でした。懐妊したお母さんが庭を散歩していくと、急に産気づいて、畢



摩訶迦葉

T O U G E N N E W
3 月 1 日

発行所 桃源院
発行責任 桃源院 広報部
〒191-0065 日野市旭が丘3-1-
編集 遠藤隆幸 河野覚然
アドレス tougen@momo.or.jp

です。もうその頃から王子は出家し、修行して真理に目覚めたいと思うようになります。さらに成長するにつれて、容姿はますます端正、智能はいいよいよ聰明になり、弁舌にも才がおよび、流れるが如くに深奥なヴァーゲークの哲理をも滔々と述べられるようになります。

それでも、彼は世の常の歡樂に興味を

この像を両親のち
とへ運び、「これを
越えるくらいの美し
い娘がいるなら、も
ちろん妻に娶りま
す」と宣言したので
す。

これには両親も、
ほとほと困り果てし
まいました。あまり
にも美しい黄金の乙
女像だったからで
す。これに勝る娘は
この世にいないだろ
うと思うくらいでし
た。

一説によると、こ

の金色の乙女像を作ったのはじつはピッタリヤナ自身だつたのではないか。彼は手先も器用で「金細工にも長じていた」と『伝灯録』などにそう書いてあります。ほどなく、両親の知り合いのバラモンが一計を案じました。その像を女神に祭りあげて、各地を練り歩くのです。綺麗に飾った山車に乙

女像を祭り、それを町から町、村から村へと引き歩いて「この美しい女神さまに供養すれば、女神様は乙女の願いは何でもかなえてくださるぞ」とふれ歩こうといふのです。ところが実際にはことは簡単には進めません、やはり黄金の乙女像以上に美しい娘は現れないのです。



令和4年12月8日～9日 コロナ禍で延期されていた「青雲」の落慶法要
三十二世中興俊良泰彦大和尚大祥忌（三回忌）法要が併修されました

日時 令和五年三月二十一日（春分の日）
午後二時より

場所 桃源院本堂

◎ お申し込みは

○ オミクロンの影響の現状を鑑み、地区を
代表して担当役員が参列いたします。

◇ ◇
◇ 祈祷袋の表面に、地区・願主名・住所を記入してください。
◇ 祈祷袋の裏面に、願い事にチェックを入れてください。

◎ お申し込みは
◇ ◇ 祈祷袋の裏面に、地区・願主名・住所を記入してください。
◇ 祈祷袋の裏面に、願い事にチェックを入れてください。

代表して担当役員が参列いたします。

- ◎ お申し込みは同封のご案内を御参照ください
- ◇ また下記のWebフォームから

日時 令和五年三月十一日(土)九時の部
十一時の部
十三時の部

東京別院春彼岸令同供養会